



拡大中学校区 小中リーダー交流会 (写真の説明は5ページ)

巻頭言 『夏は、子どもを成長させる』

学校教育課長 佐藤研一郎

昨年の今頃は、来年の夏休みには新型コロナウイルスもかなり終息し、普段どおりの生活が戻ってくるだろうという私の浅はかな期待は、見事に裏切られてしまいました。夏休みは、子どもたちにとって特別な休みです。「楽しかった夏休み」というタイトルで、2学期の始めに発表する子はどのくらいいたのでしょうか。

私の生まれ育った所は海岸沿いの小さな町で、海と山がほとんどくっついているため、猫の額もない土地にほとんどの人が住んでいるようなところでした。ですから、遊びといえば、裏の海岸に行って釣りをしたり、浜辺で野球をしたりメンコをしたりと長い夏休みは、気ままに、悪くいえばだらだらと過ごしていました。そんな日々を過ごす中でも、ちょっとした「冒険」がありました。今に思えばたいしたことはないのですが、親に内緒で出かけた友達との自転車の旅（サイクリングと呼んでいましたが）は、期待と緊張感でわくわくしたことを覚えています。あちらこちらと出かけました。その中でも、峡谷での水遊びは格別でした。自転車に乗って川沿いの道を上流に向かってひたすらこぎ続け、ごつごつした大きな岩だらけの峡谷にたどりつき、そこで川遊びに興じました。背骨が凍ってしまうのではないかなと思うくらいの冷たい水に入り、川の強い流れに流されそうになりながらも友達と助け合いながら必死に泳ぐといったちょっとした恐怖を味わう、そんな緊張感が子どもの頃にはたまらなかったのです。こうした秘密の冒険を共有した友達とは、運命共同体というべきか、絆を深めたというべきか、まさに仲間であったと思います。

この夏休みのコロナ禍の中で、学校や家庭、地域においても、思い切った活動が制限され、子どもたちの仲間づくりや絆づくりは非常に難しいものがあったと思います。8月5日に開催しました小中一貫教育の研修会の折に、講師の阿部先生からいただいた「自己有用感、他者との関わりの中でしか育まれない。」という言葉、しみじみと自分の数十年前の記憶と重ねながら思い出しました。

他者と認め合う関係づくりを、意図的に計画的に、学校や家庭、地域で実践していくことが求められています。アフターコロナを見越したダイナミックな教育活動を期待しております。

小学生の秘密は、それほど長続きしません。運命共同体の崩壊により、当面冒険は中断することとなりました。

小中一貫教育

■ 自己有用感を高める学級づくり、授業づくり

～8月5日小中一貫教育中学校区合同教職員研修会～

2年ぶりの開催となった中学校区合同教職員研修会ですが、今回は、上越教育大学大学院阿部隆幸教授をお招きし、ご講演いただきました。

これまでも自己有用感を高める取組については、「居場所づくり」「絆づくり」の視点から、学校行事や特別活動、中学校区で連携した事業等、学校や学校区の特色を生かした素晴らしい取組を進めていただいています。

ただ、学校生活の中で一番長く過ごしている日々の授業の中でどのように取り組んだらよいのかが、「見えてこない」という声もありました。

そこで、今回の研修では、「自己有用感を高める学級づくり、授業づくり」というテーマで講師からお話をいただきました。

事後のアンケートでは、内容が「よかった」が96%を超え、2学期から「対話」に取り組んでみたいという感想を多数いただきました。たくさんのクラスで「オープン・クエスチョン」の行き交う「対話」が行われているのではないかと思います。



「オープン・クエスチョン」の「対話」の演習



サテライト会場の映像や質問等も共有

■ 各中学校区の研修・講演会

～様々な工夫により、内容ももち方も多様化～

今年は中学校区合同教職員研修会が実施される年ではありますが、中学校区でもこの夏に研修会・講演会が行われました。

児童生徒向けのメディア活用に関する講演会やレジリエンスに関わる講演会、教職員向けのQUテストに関わる研修会や同和教育に関わる研修などがありました。教育界の動向や各中学校区の課題に即した内容が取り入れられているものと思われます。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症禍で中止になったものもあるようですが、西小教育の日のメディア活用に関するPTA講演会に西小だけでなく川治小と南中の職員・保護者が学校や自宅からオンラインで参加するなど、新しい可能性にチャレンジする取組も見られます。私たちは、新型コロナウイルス感染症禍で大変な制限を受けていますが、次に生かせる貴重な経験をしているのかもしれませんが。他の中学校区でどのような取組をしているのか下記サーバーのアドレスに各中学校区の「月間取組報告」がありますので参考にしてみてください。



西小メディア活用に関する研修会(西小会場)

職責別 → 01_学校間共通 → 03_小中一貫教育 → 13_月間取組報告

教育相談班より

■ 1学期の「不登校児童生徒・いじめ認知」の状況

○不登校児童生徒の状況（令和3年4～7月）

	小学校	中学校	小・中 計
不登校児童生徒の割合	0.40% (0.26%)	2.57% (2.21%)	1.14% (0.93%)

※ 小・中学校の数には、ふれあいの丘支援学校小学部・中学部の数を含む。

※ ()内は、昨年度同時期の値

小・中学校ともに、昨年度より不登校児童生徒数が増加のペースであり、1学期末現在、小学校では1.5倍、中学校では1.1倍です。コロナ禍での行動制限が続く中ですが、家庭等と連携したきめ細やかな対応を継続する必要があります。

○いじめ認知の状況（令和3年4～7月）

	小学校	中学校	小・中 計
いじめ認知件数	41 (41)	47 (30)	88 (71)
1,000人あたりの認知件数	18.3 (17.6)	40.2 (24.5)	25.8 (20.0)

※ 小・中学校の数には、ふれあいの丘支援学校小学部・中学部の数を含む。

※ ()内は、昨年度同時期の値

特に中学校では昨年度より積極的に認知しており、各校がいじめ対策に尽力している結果といえます。今後も、いじめを放置することのないよう、いじめ認知のアンテナを高く張り、アンケート調査等で実態把握の方法を工夫するなど、初期段階のものも含めた積極的な認知と丁寧な初期対応をお願いします。

<資料> いじめ認知のきっかけ

<数値は認知件数に対する割合>

	学級担任	他の教職員	養護教諭	SC等相談員	アンケート	本人の訴え	本人の保護者	他の児童生徒	他の保護者	地域住民	関係機関	その他
R2 十日町市	7.3	7.8	1.7	0.6	12.3	34.6	22.9	14.0	2.8	0.0	2.8	0.0
R1 新潟県	6.9	2.7	0.4	0.1	55.4	18.7	10.3	4.3	1.1	0.1	0.1	0.0
R1 全国	10.4	2.2	0.3	0.2	54.2	17.6	10.2	3.4	1.2	0.1	0.1	0.1

※ 国・県は国公私立の小・中・高・特別支援学校、市は市立学校の数値

■ 「十日町市いじめ防止基本方針」を改定

令和2年12月の「新潟県いじめ等の対策に関する条例」の制定及び、令和3年7月の「新潟県いじめ防止基本方針」の改定を踏まえ、「十日町市いじめ防止基本方針」を改定しました。

主な改定内容は、「定義」に「いじめ類似行為の定義」を追記したことです。本方針におけるいじめの防止等の対策と認知及びその後の対応については、「いじめ類似行為」に関しても同様に扱うものとします。

各校においては、「いじめ類似行為」を含めた「いじめ」の積極的な認知と対策に取り組むようお願いします。

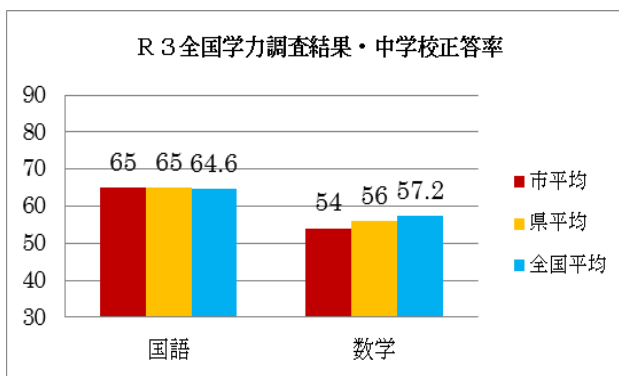
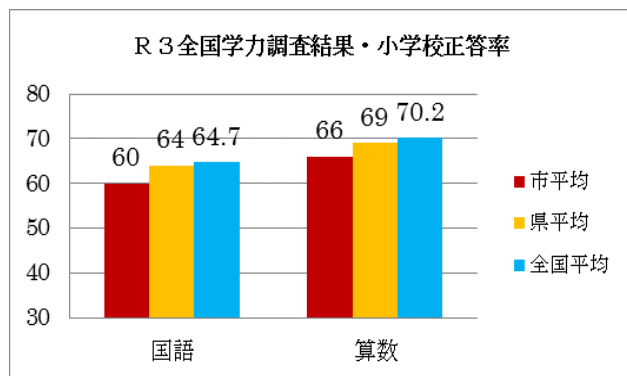
学習指導班より

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果

◎ 全国比（全国を100としたときの市の値）

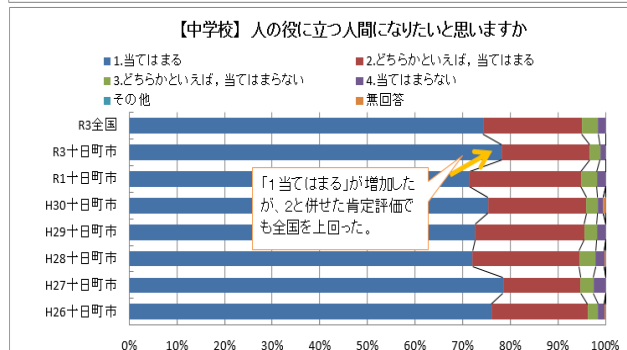
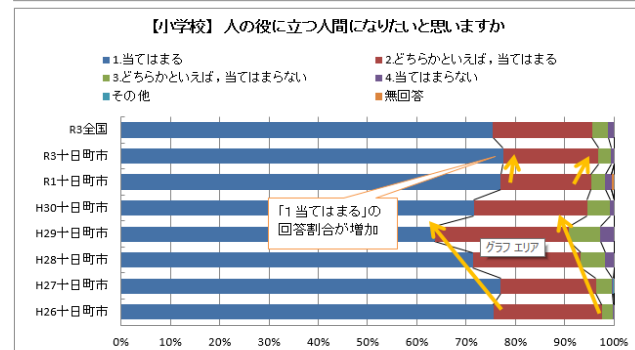
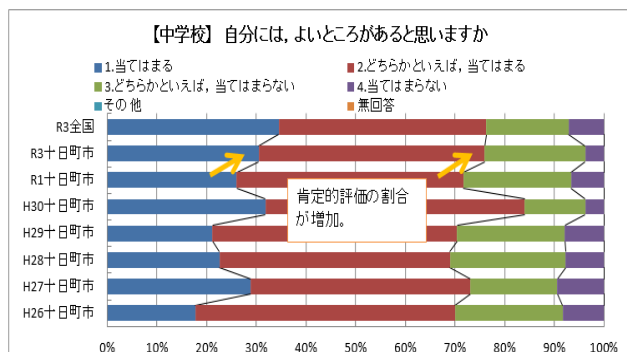
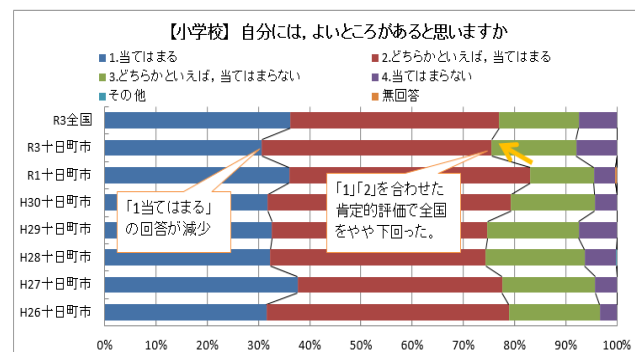
小学校（全国＝100）				
	R 1		R 3	
	国語	算数	国語	算数
市	100	100	93	94
県	102	100	99	99

中学校（全国＝100）					
	R 1			R 3	
	国語	数学	英語	国語	数学
市	100	99	98	101	95
県	100	100	99	102	99



- 小学校では、国語・算数とも、県平均・全国平均を下回りました。
- 中学校では、国語は県平均を下回りましたが、全国平均より若干上回りました。数学は、県平均・全国平均を下回りました。

◎ 児童生徒質問紙より



全国学力・学習状況調査の結果は、NRT 学力検査と同様、学力実態を表す一つの指標です。自己有用感向上の取組とともに、各校での学力向上の取組のための資料としてください。詳しくは、学力向上計画訪問の折に説明させていただきます。

学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～10・11月～

日 時	内 容 ・ 会 場	備 考
10 月 1 日 (金)	学力向上計画訪問 (西小)	南中学校区
10 月 5 日 (火)	小学校外国語サポート訪問(川治小)	
10 月 15 日 (金)	学力向上計画訪問 (鑑島小)	吉田中学校区
10 月 21 日 (木)	特別支援教育研修講座～中級講座②③～ ②「教育相談・保護者との連携」 ③「自立活動」 【千手コミセン】 ※ 中止した 8/19 中級講座②を含みます。	講師：ふれあいの丘支援学校 秦野真一 様 金森史子 様 田口一浩 様 角屋香里 様 対象：特別支援教育コーディネーター 特別支援学級担任
10 月 27 日 (水)	人権教育、同和教育教職員研修会 【千手コミセン】	講師：部落解放同盟新潟県連合会 執行委員長 長谷川均 様 対象：十日町市立学校教職員 十日町市人権関係職員
11 月 1 日 (月)	学力向上計画訪問 (松之山中)	松之山中中学校区
11 月 1 日 (月)	第 2 回 WEBQU 実施	11 月 12 日まで
11 月 2 日 (火)	学力向上計画訪問 (橘小)	川西中学校区
11 月 8 日 (月)	学力向上計画訪問 (下条中)	下条中学校区
11 月 9 日 (火)	小学校外国語サポート訪問 (中条小)	
11 月 11 日 (木)	特別支援教育研修講座 ～上級講座②～「授業改善Ⅱ」 【ふれあいの丘支援学校】	講師：上越教育大学大学院 教授 村中智彦 様 対象：研修会講師経験者 特別支援学校職員 他 それに準ずる方
11 月 12 日 (金)	学力向上計画訪問 (十日町小)	拡大中学校区
11 月 15 日 (月)	小学校外国語サポート訪問 (田沢小)	
11 月 17 日 (水)	いじめ防止対策研修会② 【情報館】	講師：中越教育事務所 指導主事 佐藤典人 様 対象：生活指導主任、生徒指導主事
11 月 18 日 (木)	新採用・若手事務職員研修②	川西庁舎
11 月 19 日 (金)	エキスパート教員研修② (川治小:国語)	
11 月 25 日 (木)	不登校対策研修会② 【千手コミセン】	講師：中越教育事務所 指導主事 長谷川成生 様 対象：校長・教頭
11 月 25 日 (木)	図書館担当者研修	情報館
11 月 29 日 (月)	学力向上計画訪問 (中里中)	中里中学校区 (10 月 12 日 (火) から変更)

【表紙写真の説明】

8 月 5 日 (木)、十日町中学校、中条中学校、十日町小学校、東小学校、中条小学校、飛渡第一小学校のリーダー交流会が十日町中学校を会場にして行われました。

前半は中学生が準備したレクリエーションを一緒に行い、交流を深めました。最初は中学生も小学生も緊張した表情でしたが、互いに自己紹介を行ったり、話合いを行ったりしたことで徐々に和んでいきました。

後半の小学生からの質問に、中学生は分かりやすく丁寧に答えていました。

今回の交流の成果を、11 月に行われる小中交流会(「いじめ見逃しゼロスクール集会」「部活動体験」)に生かし、つなげていきたいという意図もあるそうです。小学生に中学校への不安を減らし、入学を楽しみにしてもらえ絶好の機会になるのではないかと思います。